

平成27年度事業報告及び 歳入歳出決算の概要

社会福祉施設特別会計



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

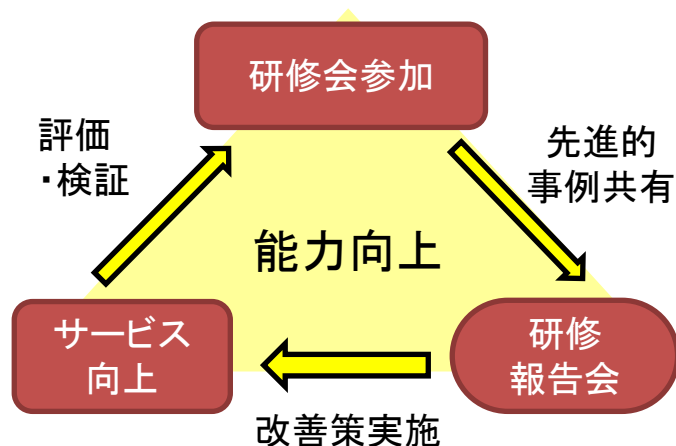
1. 平成27年度 事業計画における主要な取り組み

- (1) 経営基盤の強化とサービスの質の向上
- (2) 地域社会での多様な社会貢献活動の推進
- (3) ボランティアの参画による施設運営の活性化
- (4) 支部、赤十字病院と連携した講習事業



(1) 経営基盤の強化とサービスの質の向上

- ア. より良質なサービスの提供 ⇒ 職員研修の充実
- イ. 効率的な施設運営 ⇒ 経費削減、物品共同購入の実施
- ウ. 介護人材の育成・確保 ⇒ 専門研修等の施設間連携、実習生の受入れ



平成26年度	1,232回
	6,749人
平成27年度	1,471回
	8,310人
	+239回
	+1,561人



専門学校の介護実習生の受入れ



日赤内外の研修会への参加



施設ヘフィードバック



施設内での初任者研修の実施

(2) 地域社会での多様な社会貢献活動の推進

子育て支援

児童虐待・育児孤立化に対しては、
… 予防の取り組み（育児支援・ショートステイ等）



子育ての楽しさや大切さを経験
～ プレママサロン ～
（秋田赤十字乳児院）



子育てママに乳児院を開放
～ にこにこほっぺ ～
（徳島赤十字乳児院）

高齢者支援

日赤安謝福祉複合施設デイサービスの取組み ～「じんぶん学校」を開設～ ※じんぶんとは「知恵」を意味する沖縄県の言葉



「赤十字安謝じんぶん学校」ってなんですか？

80歳を超えると、認知症や足腰が弱くなる方が増えてきます。
赤十字安謝じんぶん学校では介護保険制度を活用し、学校方式で
お年寄りのリハビリや認知症予防を図っています。

学生の声



安謝じんぶん学校へ通って、約半年。体調も以前より良くなり、毎回じんぶん学校へ来るのを楽しみにしています。
家庭菜園をやっている事から、学校での園芸を日課にしています。
畑を始めたころは、石をひとつひとつ取り除く事からスタートし、雑草取りや土作りなども職員と一緒にやってきました。
今では大根やゴーヤー、ニラなども収穫することができ、生きがいになっています。
今度は葉菜類も増やして他の学生さん達も喜ぶ物を作っていきたいと思っています。



安謝じんぶん学校へ通って、三个月です。
それまでは、足を骨折し入院、その後、自宅に戻りましたが、ほとんど自宅から出ることはありませんでした。
そんな中、安謝じんぶん学校へ入学しました。
学校へ通うようになって、好きな塗り絵の授業を受け、楽しみを見つけたことが出来ました。
今では、自宅でも、宿題を頑張っています。
また、通学することにより、学校のお友達も増え時々電話をいれるようになっています。

※写真、コメントは本人または家族の同意を得て使用しています

授業風景



大型パソコンでの授業



体育(健康長寿体操)



保健(口腔体操)



社会(世代間交流)



国語(漢字)



理科(園芸)



音楽(カラオケ)



体育(リハビリ)



社会(課外事業)

その他

福祉活動の普及啓発 としては・・・イベント等の実施 地域講座の開催



保育の仕事を疑似体験 ～赤十字キッズタウン～
(茨城県支部乳児院)



介護の仕事を出張授業 ～福祉体験講座～
(特別養護老人ホーム豊寿園)



地域の方々を対象とした介護予防等の講義
～生活支援講座～ (日赤安謝複合施設)

(3) ボランティアの参画による施設運営の活性化

募集記事を本社ホームページ等で周知



平成25年10月4日

Voice of Volunteer
～あなたにとって、ボランティアとは？～
「日本赤十字医療センター附属乳児院」のボランティア、西岡さんの声をお届けします！

①どんな活動をしているのですか？
私は「日本赤十字医療センター附属乳児院」で、毎週1回、ブロック制で、子どもたちと交流しています。子どもたちは、病室で過ごす時間が多く、学校や公園に行くことができません。そこで、病室で過ごす時間を少しでも楽しく、子どもたちの成長を支援するために、ボランティアとして活動しています。子どもたちと交流するだけでなく、病室の掃除や、食事の準備など、様々な活動を行っています。子どもたちの笑顔を見ることが、私の活動の大きな喜びです。

②ボランティア活動の魅力とは？
病室にただただ入って、子どもたちと交流するだけでなく、自分自身も成長できる点です。子どもたちと交流するうちに、自分自身も成長しているのを実感しています。また、病室に滞在している子どもたちから、様々な話を聞かされます。病室生活の辛さや、家族への思いなど、様々な話を聞かされます。病室生活の辛さや、家族への思いなど、様々な話を聞かされます。病室生活の辛さや、家族への思いなど、様々な話を聞かされます。

③あなたにとってボランティアとは？
私にとってボランティアとは、もうひとつの自分を見つけることです。自分自身について振り返り、考えさせられる。とても大切な時間です。また、病室生活の辛さや、家族への思いなど、様々な話を聞かされます。病室生活の辛さや、家族への思いなど、様々な話を聞かされます。

ボランティア情報：医療センター附属乳児院 <http://www.jrcs.jp>

個人ボランティアの積極的な受け入れ



お話し相手ボランティア
(小川ひなた 荘)



利用者家族のハーブティー提供
(総合福祉センター)

企業の社会貢献活動の積極的な受け入れ



ミツウロコグループ提供の人形劇
(はまなす医療療育センター)



コンビのベビー用品寄贈
(大手前整肢学園)

ボランティア活動者の推移(年間延人数)

平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
47,817人	49,126人	48,562人	47,112人	50,401人

(4) 支部、赤十字病院と連携した講習事業

施設の特性を活かした講習事業を推進

児童福祉施設 ⇒ 幼児安全法

老人福祉施設 ⇒ 救急法、健康生活支援講習



乳児院での幼児安全法講習



福祉職員による
JRC加盟校での救急法講習

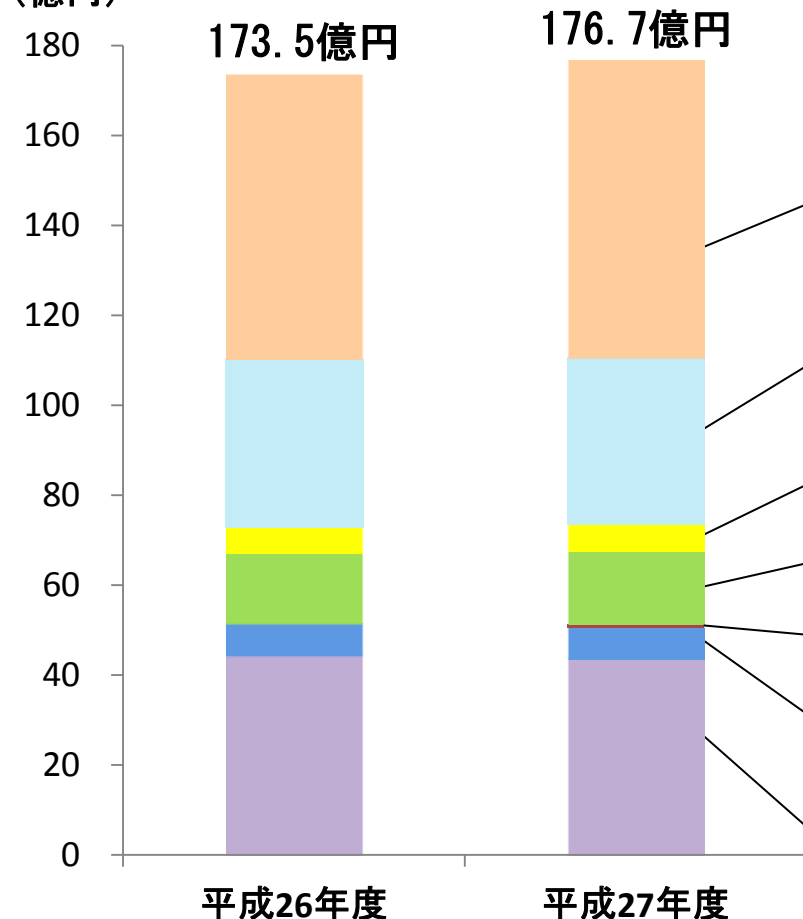
平成27年度	実施回数	受講者数
救急法	31	724
幼児安全法	58	700
健康生活支援講習	6	125

今後の方向性・課題

項目	目標	これまでの取り組み	今後の方向性・課題
安定した施設経営	効率的な施設運営による経営基盤の強化	個別経営指導及び支援の取り組み	日赤グループとしての施設経営の効率化
職員の能力向上	福祉サービスに従事する職員のサービスの質の向上	職員のスキルアップ研修の拡充・強化	多様化する社会福祉ニーズへの対応強化
施設運営の活性化	地域社会での多様な社会貢献活動の推進	ボランティア、各種団体等と連携した地域貢献活動の推進	地域福祉に対する更なる貢献
災害対応能力の強化	災害に強い運営体制の確立	災害時の地域住民受入のための設備整備等	備蓄資材、物資の充実、訓練等による職員スキルの向上

2. 社会福祉施設特別会計歳入決算のあらまし

(億円)



事業活動による収入

[122.1億円 → 126.1億円] 3.3%

児童福祉施設 16施設

[63.2億円 → 66.1億円] 4.5%

老人福祉施設 8施設

[37.2億円 → 37.0億円] △0.3%

障害者福祉施設 3施設

[5.94億円 → 5.97億円] 0.5%

複合型施設 1施設

[15.6億円 → 16.2億円] 3.7%

本部会計

[0円 → 0.6億円] —

施設整備等及びその他の活動による収入

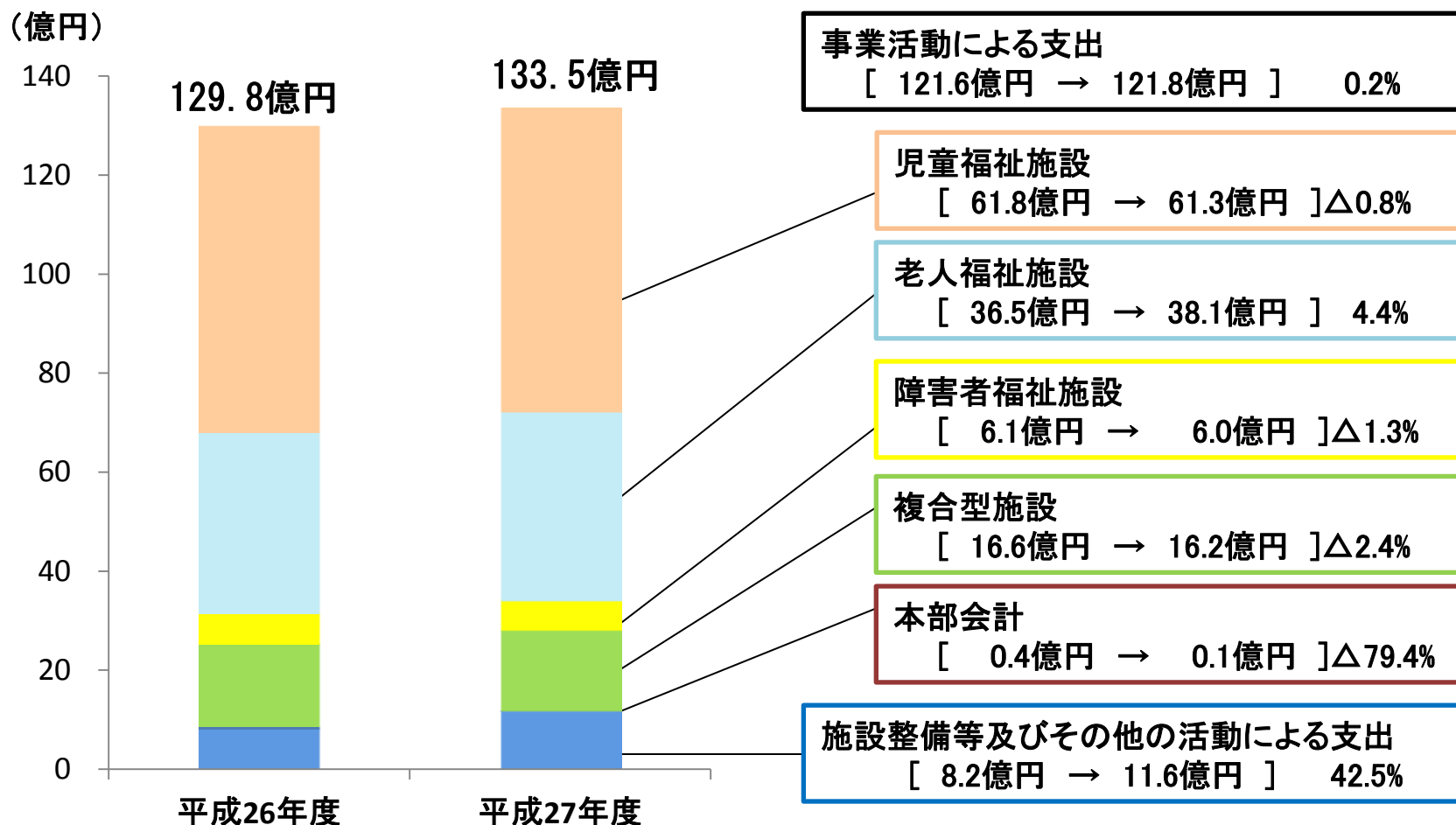
[7.0億円 → 6.9億円] △1.1%

前期末支払資金残高

[44.4億円 → 43.6億円] △1.7%

	平成26年度	平成27年度	増減率
収入合計	173.5億円	176.7億円	1.8%

3. 社会福祉施設特別会計歳出決算のあらまし



	平成26年度	平成27年度	増減率
支出合計	129.8億円	→ 133.5億円	2.9%
収入支出差引額	43.6億円	→ 43.1億円	△1.2%

※平成27年度単年度の収支差額は△約5千2百万円（実質的収支差額は＋2億3千万円）